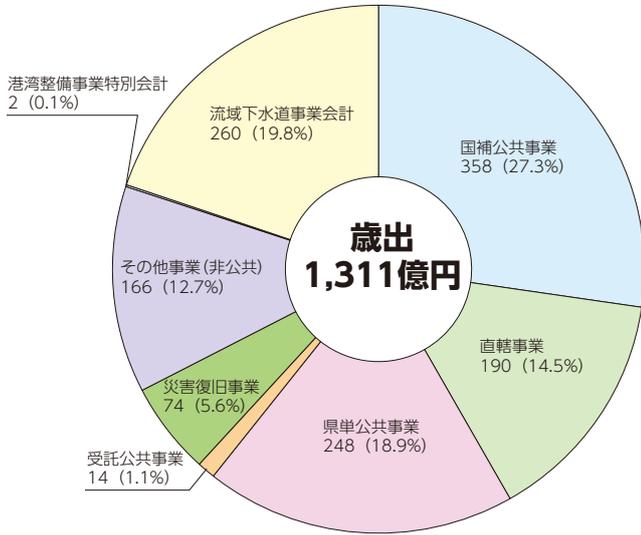
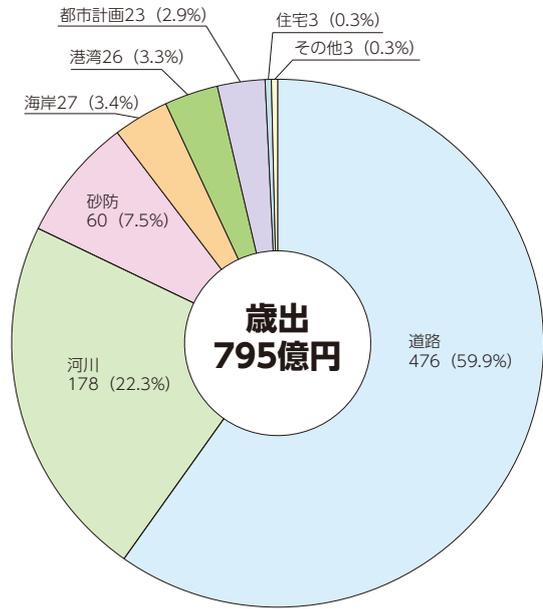


令和5年度県土整備部当初予算



令和5年度県土整備部一般会計公共事業当初予算



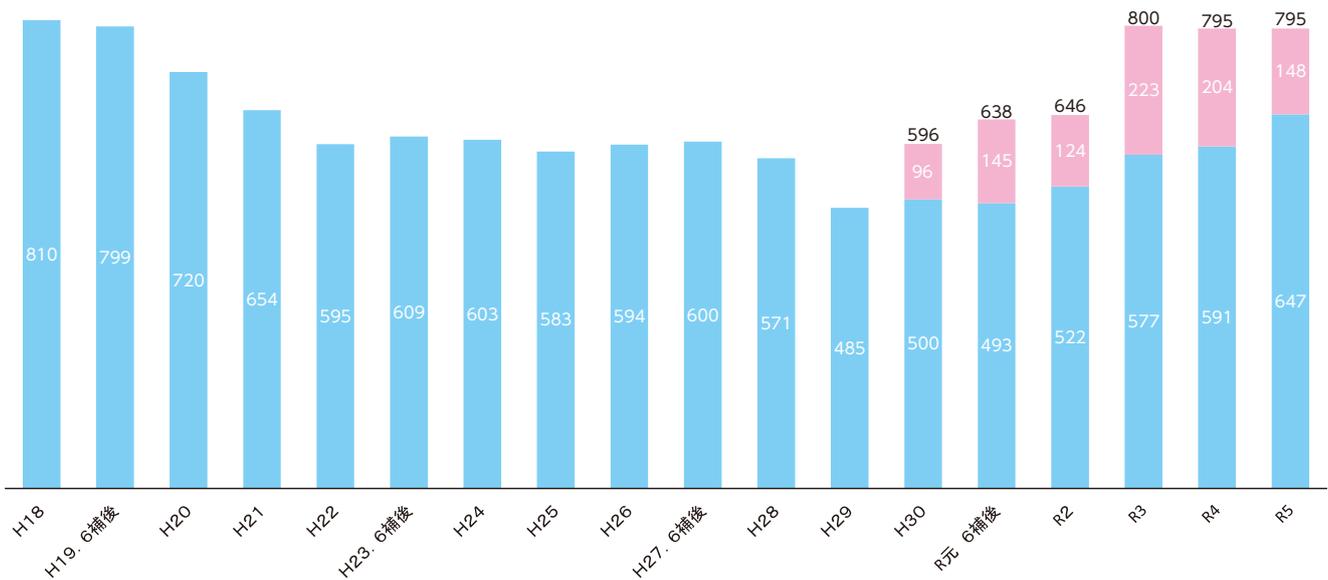
※1月補正予算含みベース (令和4年度1月補正予算+令和5年度当初予算)としています。
 ※歳出1,311億円の会計別の内訳は、一般会計1,050億円、特別会計(港湾整備事業)2億円、企業会計(流域下水道事業)260億円です。
 ※数値は四捨五入によるため、内訳と合計が一致しないことがあります。

※1月補正予算含みベース (令和4年度1月補正予算+令和5年度当初予算)としています。
 ※受託公共事業、災害復旧事業を除いています。
 ※数値は四捨五入によるため、内訳と合計が一致しないことがあります。

(単位：億円)

県土整備部一般会計公共事業 当初予算の推移

■ うち通常分 ■ うち国土強靱化分等



※平成19,23,27,令和元年度は6月補正肉付け後予算となります。
 ※令和3年度は2月補正予算含みベース(令和2年度2月補正予算+令和3年度当初予算)としています。
 ※令和4年度は1月補正予算含みベース(令和3年度1月補正予算+令和4年度当初予算)としています。
 ※令和5年度は1月補正予算含みベース(令和4年度1月補正予算+令和5年度当初予算)としています。

県土整備部

令和5年度の取組方針

(1) 強靱な県土づくりの強力な推進

近年の激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない、強靱な県土づくりに向けて、「5年後の達成目標」をふまえ「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めます。また、道路ネットワークの機能強化対策や、インフラの老朽化対策、流域治水プロジェクトの本格的な展開等を着実に推進するとともに、水害リスク情報の充実・強化による住民避難の支援や、初動を迅速化する危機管理体制の強化に取り組みます。

(2) 暮らしに身近な課題への対応の強化

暮らしの安全・安心を実感していただけるよう身近な課題への対応を強化します。効果的できめ細かな道路除草の実現に向けた取組を進めるなど適切な維持管理を行うとともに、通学路の交通安全対策、河川・砂防ダムの堆積土砂の計画的な撤去、良好な住環境の整備を進めます。

(3) デジタル化(DX)、グリーン化(GX)の推進

道路A Iカメラや危機管理型水位計によるモニタリング体制の拡充や、L P データ(三次元空間データ)を活用した法面点検など、I C Tを活用したインフラマネジメントの高度化を進めます。また、グリーンインフラの積極的な導入や、トンネル照明のL E D化、カーボンニュートラルポート形成計画の策定に向けた取組など脱炭素化を推進するとともに、街路樹の樹形管理や地域との協働による花植えなど空間のグリーン化を進めます。

(4) 豊かで活力のある地域づくりの推進

産業の活性化に向けて、地域間交流を促進する道路ネットワークの拡充を進めます。また、人口減少対策に寄与する賑わいを創出するため、道路空間の再編やコンパクトで賑わいのあるまちづくりの取組を推進します。さらに、観光誘客の促進に向けて、公園の整備や、アクセス道路の改善、インフラ空間の観光資源としての活用に積極的に取り組みます。

(5) 公共事業の的確な推進

公共事業を効率的かつ円滑に実施し、引き続き順調な執行を確保するため、「第三次三重県建設産業活性化プラン」に基づく労働環境の改善やI C Tの活用、担い手の確保、また、不当要求対策の強化等を推進するとともに、次期プランの計画策定に取り組みます。